

五輪の山ができました

創立100周年記念の事業の一つである「五輪の山」の改修がほぼ終了しました。高い滑り台の上にこれまであった5つの輪と「1964」に加え、今回の東京オリンピックの「2020」をつけました。また、これまでは高い滑り台だけでしたが、低学年の子でも使いやすいように、低い滑り台もつけました。

低い滑り台の下は、安心して滑ることができるよう砂をひいてあります。

また、長年の使用でコンクリートのひび割れも気になっていましたので、その修繕も行いました。併せて、現在の安全基準に適合するように、滑り台の柵などを改修しました。

「五輪の山」は

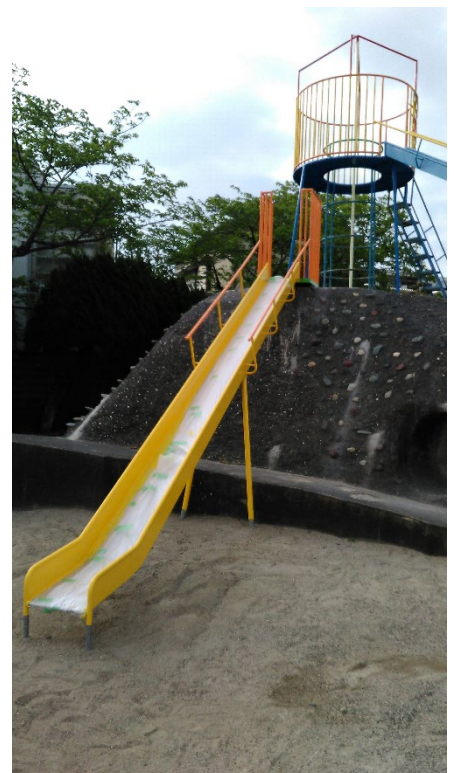
- ① チェーンや石を伝って登る
- ② 手すりを使って登る
- ③ トンネルをくぐる
- ④ 2つの滑り台で降りてくる

といういろいろな遊び方ができる楽しい総合遊具です。

五輪の山が子供たちにとって今まで以上に楽しい総合遊具となり、歓声を上げて遊ぶ姿が楽しみです。また、

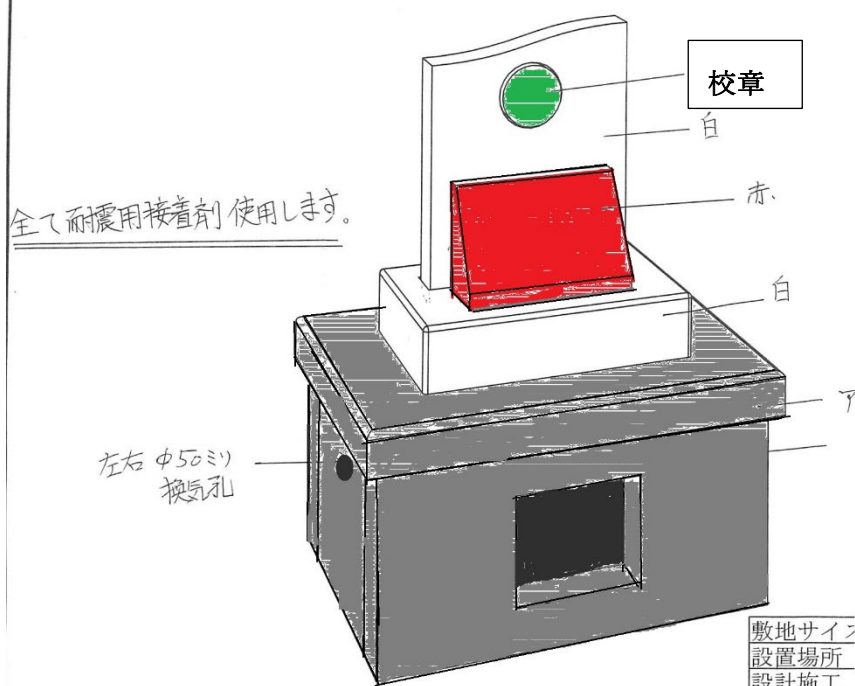
「県居小学校には、五輪の山という楽しいところがあるんだよ」という誇らしい気持ちも持ってほしいと願っています。学校が再開したら子供たちに紹介し、使用を始めようと思います。

この修繕は、浜松市教育委員会が行ってくださいました。



創立 100 周年記念碑

周年記念碑（案）



記念碑の案ができあがりました。子供たちが卒業するときを書く、未来の自分に宛てた手紙を収納できる「未来ポスト」と兼ねた記念碑です。全て石で作り、土台の中は空洞になっていますので、その中にステンレスの缶に収めた手紙を収納できるようにしてあります。

手紙の収納場所は換気が良くできるようにしたり、湿気を防ぐことができるようにしたりしています。また、きちんと鍵をかけることができるようにして、子供たちが大きくなっ

たときに確実に取り出すことができるように工夫していきます。

この記念碑は子供たちの昇降口の前に設置し、いつも目につくようにしたいと考えています。この記念碑を見て、県居小学校の歴史と伝統、そして自分たちの未来への希望を持って将来に進んでいくことを願っています。



県居小学校歴代の校長先生

(敬称略)

初代 村松十和吉
2代 中村 良徳
3代 袴田 彦一
4代 渥美 武義
5代 佐藤 頼次
6代 川島 與一
7代 山本 太吉
8代 吉山 鍊二
9代 斎藤 陸平

10代 富永 忠男
11代 大石 三男
12代 河村 初友
13代 尾上 勝久
14代 大場 秀麿
15代 小池 恒夫
16代 大庭 勉
17代 中津川昌義
18代 綿本 達生
19代 大石 文昭

20代 齋藤 和子
21代 菅沼 末男
22代 山田かほる
23代 山本 益弘
24代 下鶴 志美
25代 池谷 昭広

紙面の都合上、今回は、在任期間は省略させていただきました。次回掲載いたします。

